

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分
 【発行日】平成20年4月24日 (2008.4.24)

【公開番号】特開2007-137827(P2007-137827A)
 【公開日】平成19年6月7日 (2007.6.7)
 【年通号数】公開・登録公報2007-021
 【出願番号】特願2005-334703(P2005-334703)
 【国際特許分類】

A 6 1 K 8/34 (2006.01)

A 6 1 Q 1/04 (2006.01)

A 4 5 D 40/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 8/34

A 6 1 Q 1/04

A 4 5 D 40/00

【手続補正書】

【提出日】平成20年3月6日 (2008.3.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

ジプロピレングリコールを 0 . 1 w t % 以上で含有した粘性化粧料を筒状の収納部を形成する中味戻し可能な押出し容器内に収納し、この容器の先端に塗布部を設け、該容器の一部に位置する回動体を一方向に回転させることによって、収納部内に収納した粘性化粧料を押圧して、粘性化粧料を塗布部の分配口から外方に押出し可能にし、及び該回動体を逆方向に回転させることによって、塗布部上の余分な粘性化粧料を塗布部の分配口から収納部内に戻すことを可能とする中皿を収納部内に装着したことを特徴とする粘性化粧品。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

すなわち、請求項 1 記載の発明は、

ジプロピレングリコールを 0 . 1 w t % 以上で含有した粘性化粧料を筒状の収納部を形成する中味戻し可能な押出し容器内に収納し、この容器の先端に塗布部を設け、該容器の一部に位置する回動体を一方向に回転させることによって、収納部内に収納した粘性化粧料を押圧して、粘性化粧料を塗布部の分配口から外方に押出し可能にし、及び該回動体を逆方向に回転させることによって、塗布部上の余分な粘性化粧料を塗布部の分配口から収納部内に戻すことを可能とする中皿を収納部内に装着したことを特徴とする粘性化粧品によって達成される。